

総合指数は1.0%上昇 ～平成20年 福岡市消費者物価指数～

今号の特集では、総務省統計局が公表している消費者物価指数(注)について、福岡市の平成20年の結果を紹介します。

お、「家具・家事用品」は平成6年以降、「教養娯楽」は平成11年以降下落が続いています。(表1, 図1)

1. 概況

福岡市の平成20年平均の消費者物価の総合指数は101.0(平成17年を100とする)で、前年に比べ1.0%上昇しています。全国の総合指数は101.7で、前年に比べ1.4%上昇しています。

また、季節等により変動の激しい生鮮食品を除く総合指数は、福岡市が100.8(前年比1.1%増)、全国が101.6(同1.5%増)となっています。

「食料」、「住居」などの10大費目別で見ると、指数は「光熱・水道」が105.7と3年連続で最も高く、「諸雑費」の102.6が続きます。最も低いのは「家具・家事用品」の92.4で、こちらも3年連続となっています。前年比では「光熱・水道」(3.1%増)が最も上昇し、「食料」(1.9%増)が続いています。下落率が最も大きいのは「家具・家事用品」(1.3%減)となっています。な

2. 10大費目指数の動き

10大費目を中分類指数で見ます。

①食料 「肉類」、「調理食品」、「穀類」等が上昇し、前年比1.9%増となっています。食料のウエイトは総合の約4分の1を占めており、食料が総合指数の上昇に寄与しています。

図1 消費者物価指数(総合)の推移

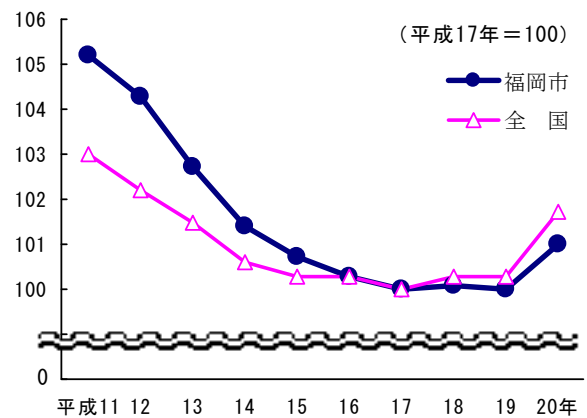


表1 消費者物価指数の推移

年	総合	生鮮食品を除く総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(平成17年=100)											
													指数											
平成16年平均	100.3	100.1	101.1	100.7	100.4	101.0	96.8	100.7	100.0	99.5	100.4	99.3												
17年 "	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0												
18年 "	100.1	99.9	100.2	100.3	102.0	97.9	100.4	99.2	99.8	100.7	98.8	101.4												
19年 "	100.0	99.7	100.6	100.4	102.5	93.6	97.8	99.0	99.8	102.0	98.1	102.4												
20年 "	101.0	100.8	102.5	101.3	105.7	92.4	97.1	98.8	101.6	102.1	97.3	102.6												
20年 "(全国)	101.7	101.6	103.4	100.0	110.7	96.0	101.9	99.4	102.4	102.1	96.7	102.1												
														前年比 (%)										
平成16年平均	△0.4	△0.6	0.3	△1.3	0.0	△6.6	0.1	0.7	△0.2	0.6	△1.2	△0.6												
17年 "	△0.3	△0.1	△1.1	△0.7	△0.4	△1.0	3.3	△0.7	0.0	0.5	△0.4	0.7												
18年 "	0.1	△0.1	0.2	0.3	2.0	△2.1	0.4	△0.8	△0.2	0.7	△1.2	1.4												
19年 "	△0.1	△0.2	0.4	0.1	0.5	△4.4	△2.6	△0.2	0.0	1.3	△0.7	1.0												
20年 "	1.0	1.1	1.9	0.9	3.1	△1.3	△0.7	△0.2	1.8	0.1	△0.8	0.2												
20年 "(全国)	1.4	1.5	2.6	0.2	6.0	△0.3	0.5	△0.3	2.0	0.7	△0.5	0.4												

注) 消費者物価指数とは、ある基準となる年に家計で購入した様々な商品(財やサービス)と同じものを、別の年に買いそろえるのに必要なお金がいくらになるかを指数で表したものの。

- ②住居 「家賃」, 「設備修繕・維持」とともに上昇し, 前年比 0.9%増となっています。
- ③光熱・水道 「電気代」, 「ガス代」, 「他の光熱」(灯油) が上昇し, 前年比 3.1%増となっています。
- ④家具・家事用品 「家事用消耗品」, 「室内装備品」等が上昇していますが, 電気冷蔵庫やルームエアコンを含む「家庭用耐久財」が大幅に下落し, 前年比 1.3%減となっています。
- ⑤被服及び履物 「シャツ・セーター・下着類」等は上昇していますが, 「衣料」等が下落し, 前年比 0.7%減となっています。

- ⑥保健医療 「保健医療サービス」等は若干上昇していますが, 「医薬品・健康保持用摂取品」が下落し, 前年比 0.2%減となっています。
- ⑦交通・通信 「交通」, ガソリンを含む「自動車等関係費」が上昇し, 前年比 1.8%増となっています。
- ⑧教育 「授業料等」が若干上昇し, 前年比 0.1%増となっています。
- ⑨教養娯楽 テレビ(薄型), パソコン(ノート型) を含む「教養娯楽用耐久財」が大幅に下落し, 前年比 0.8%減となっています。
- ⑩諸雑費 「他の諸雑費」が下落したものの, 「身の回り用品」, 「理美容サービス」

表 2 中分類指数

					(平成17年=100)				
分 類	ウエイト	平成 19年 平均	20年 平均	前年比 (%)	分 類	ウエイト	平成 19年 平均	20年 平均	前年比 (%)
総 合	10 000	100.0	101.0	1.0	被 服 関 連 サ ー ビ ス	32	102.3	103.8	1.5
食 料	2 508	100.6	102.5	1.9	保 健 医 療	406	99.0	98.8	△0.2
穀 類	208	97.2	102.5	5.5	医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 摂 取 品	124	96.8	95.8	△1.0
魚 介 類	231	105.6	104.9	△0.7	保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	67	99.3	99.6	0.3
肉 類	226	100.4	106.2	5.8	保 健 医 療 サ ー ビ ス	215	100.1	100.3	0.2
乳 卵 類	106	98.0	104.4	6.5	交 通 ・ 通 信	1 554	99.8	101.6	1.8
野 菜 ・ 海 藻	268	100.9	102.3	1.4	交 通	338	99.6	102.2	2.6
果 物	82	108.2	98.9	△8.6	自 動 車 等 関 係 費	843	102.3	104.7	2.3
油 脂 ・ 調 味 料	97	103.3	104.7	1.4	通 信	374	94.2	94.1	△0.1
菓 子 類	203	97.3	98.9	1.6	教 育	442	102.0	102.1	0.1
調 理 食 品	245	101.2	106.2	4.9	授 業 料 等	351	101.0	101.3	0.3
飲 料	129	97.1	95.4	△1.8	教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	10	100.8	100.9	0.1
酒 類	123	99.3	101.9	2.6	補 習 教 育	82	106.7	105.8	△0.8
外 食	591	100.5	101.5	1.0	教 養 娯 楽	1 186	98.1	97.3	△0.8
住 居	1 755	100.4	101.3	0.9	教 養 娯 楽 用 耐 久 財	115	64.7	54.2	△16.2
家 賃	1 447	100.7	101.2	0.5	教 養 娯 楽 用 品	225	101.1	101.1	0.0
設 備 修 繕 ・ 維 持	308	99.1	101.9	2.8	書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	159	100.7	100.9	0.2
光 熱 ・ 水 道	655	102.5	105.7	3.1	教 養 娯 楽 サ ー ビ ス	687	102.0	102.3	0.3
電 気 代	260	99.8	101.8	2.0	諸 雑 費	654	102.4	102.6	0.2
ガ ス 代	195	103.8	109.1	5.1	理 美 容 サ ー ビ ス	135	100.5	101.1	0.6
他 の 光 熱	23	127.8	151.6	18.6	理 美 容 用 品	156	97.4	97.4	0.0
上 下 水 道 料	178	101.7	101.7	0.0	身 の 回 り 用 品	106	111.8	115.6	3.4
家 具 ・ 家 事 用 品	318	93.6	92.4	△1.3	た ば こ	56	109.1	109.2	0.1
家 庭 用 耐 久 財	104	73.9	66.9	△9.5	他 の 諸 雑 費	201	100.7	99.1	△1.6
室 内 装 備 品	31	103.7	106.1	2.3	生 鮮 食 品	374	106.2	104.3	△1.8
寝 具 類	23	104.0	106.5	2.4	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	9 626	99.7	100.8	1.1
家 事 雑 貨	74	106.4	107.2	0.8	持 家 の 帰 属 家 賃 を 除 く 総 合	9 050	99.8	100.8	1.0
家 事 用 消 耗 品	67	99.9	102.4	2.5	持 家 の 帰 属 家 賃 及 び 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	8 675	99.5	100.7	1.2
家 事 サ ー ビ ス	18	100.3	99.7	△0.6	エ ネ ル ギ ー	664	105.4	112.6	6.8
被 服 及 び 履 物	521	97.8	97.1	△0.7	食 料 (酒 類 を 除 く) 及 び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合	6 951	99.2	99.3	0.1
衣 料	231	96.9	94.3	△2.7	教 育 関 係 費	520	101.9	102.2	0.3
シャ ツ ・ セ ー タ ー ・ 下 着 類	169	103.2	104.6	1.4	教 養 娯 楽 関 係 費	1 377	98.2	97.8	△0.4
履 物 類	53	84.2	83.9	△0.4	情 報 通 信 関 係 費	503	95.9	95.9	0.0
他 の 被 服	35	94.6	94.1	△0.5					

ス」等が上昇し、前年比0.2%増となっています。(表2)

3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると、「総合」の最高値は8月の102.0、最低値は2月の99.7となっています。「生鮮食品を除く総合」も「総合」と同様の軌跡をたどっています。

10大費目別では、「光熱・水道」は年間を通して高い数値で推移しています。「被服及び履物」は例年2月と8月に谷と

なる傾向にあり、最高値は10月の100.5、最低値は2月の90.3と10.2ポイントの変動幅があります。「交通・通信」は最高値が8月の105.5、最低値が12月の98.2と7.3ポイントの変動幅があります。4月は揮発油税・地方道路税の暫定税率が一時的に失効したことにより下落しています。

一方、「教育」と「保健医療」は年間を通してほぼ横ばいで推移しています。

(表3、図2)

図2 10大費目の月別指数（平成20年）

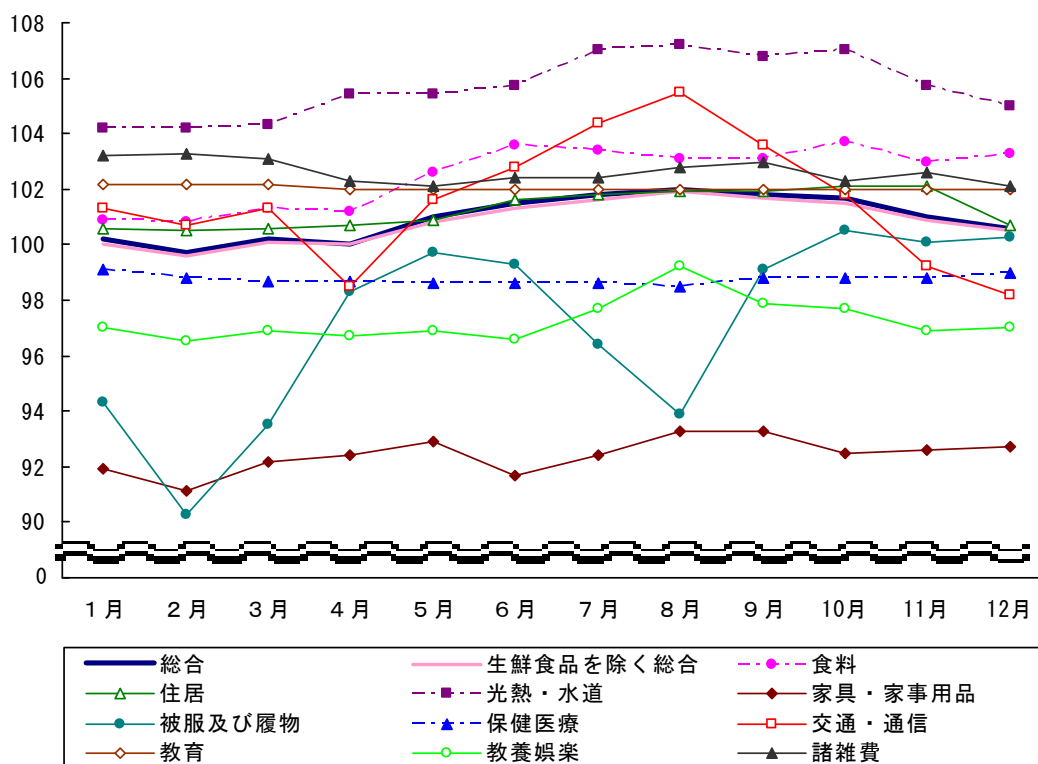


表3 10大費目の月別指数（平成20年）

分類	(平成17年=100)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	100.2	99.7	100.2	100.0	101.0	101.5	101.8	102.0	101.8	101.7	101.0	100.6
生鮮食品を除く総合	100.0	99.6	100.1	100.0	100.8	101.3	101.6	101.9	101.7	101.5	100.9	100.5
食料	100.9	100.8	101.3	101.2	102.6	103.6	103.4	103.1	103.1	103.7	103.0	103.3
住居	100.6	100.5	100.6	100.7	100.9	101.6	101.8	101.9	101.9	102.1	102.1	100.7
光熱・水道	104.2	104.2	104.3	105.4	105.4	105.7	107.0	107.2	106.8	107.0	105.7	105.0
家具・家事用品	91.9	91.1	92.2	92.4	92.9	91.7	92.4	93.3	93.3	92.5	92.6	92.7
被服及び履物	94.3	90.3	93.5	98.3	99.7	99.3	96.4	93.9	99.1	100.5	100.1	100.3
保健医療	99.1	98.8	98.7	98.7	98.6	98.6	98.6	98.5	98.8	98.8	98.8	99.0
交通・通信	101.3	100.7	101.3	98.5	101.6	102.8	104.4	105.5	103.6	101.8	99.2	98.2
教育	102.2	102.2	102.2	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0
教養娯楽	97.0	96.5	96.9	96.7	96.9	96.6	97.7	99.2	97.9	97.7	96.9	97.0
諸雑費	103.2	103.3	103.1	102.3	102.1	102.4	102.4	102.8	103.0	102.3	102.6	102.1

4. 大都市の状況

17大都市（数値が公表されていない浜松市と堺市を除く政令指定都市及び東京都区部）の消費者物価指数（年平均）を見ると、総合が最も高いのは岡山市の102.4で、広島市が102.2と続き、福岡市の101.0は新潟市と並び13番目となっています。最も低いのは大阪市の100.7です。前年比では、総合はすべての都市で上昇しており、札幌市が2.0%増と最も上昇し、広島市の1.9%増が続いています。

10大費目別に見ると、指数では、岡山市は「家具・家事用品」が最も高く、広島市は「被服及び履物」が最も高くなっています。一方、福岡市は「被服及び履物」が最も低くなっています。前年比では、「食料」、「光熱・水道」、「交通・通信」はすべての都市で上昇しています。

（表4）

消費者物価指数に関しては、総務省統計局のホームページでご覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/>

表4 大都市の消費者物価指数（平成20年）

（平成17年=100）

都市	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及 び履物	保健医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	諸雑費	
													指 数
全 国	101.7	101.6	103.4	100.0	110.7	96.0	101.9	99.4	102.4	102.1	96.7	102.1	
札幌市	102.1	102.1	102.5	100.1	117.6	97.8	101.5	100.2	103.0	104.5	96.0	101.2	
仙台市	101.6	101.4	102.2	99.7	111.3	94.4	104.1	98.4	102.7	102.4	97.8	102.0	
さいたま市	101.3	101.2	102.3	102.1	110.2	94.1	99.7	99.3	101.6	101.1	97.1	101.4	
千葉市	101.3	101.1	102.1	99.9	110.9	94.8	101.2	99.5	101.9	100.8	99.6	102.2	
東京都区部	101.2	101.0	102.7	100.4	107.5	95.1	100.3	99.4	100.6	102.5	98.0	102.0	
川崎市	101.3	101.3	103.7	100.6	107.9	99.1	101.3	100.5	100.9	102.6	95.4	101.7	
横浜市	102.0	102.0	103.7	101.0	108.4	97.4	102.2	100.1	100.9	101.3	99.5	103.8	
新潟市	101.0	101.1	101.7	99.5	109.1	91.3	104.0	99.3	102.5	102.2	96.4	102.3	
静岡市	101.3	101.1	105.4	97.1	109.2	95.8	101.6	99.9	102.7	98.6	95.8	102.4	
名古屋市	101.7	101.6	103.2	101.2	108.0	96.2	100.7	99.4	101.6	102.7	96.8	102.7	
京都市	100.9	100.8	103.7	98.6	105.7	91.2	101.0	100.1	101.3	102.2	96.1	103.0	
大阪市	100.7	100.7	102.8	98.6	105.5	97.1	101.8	99.6	100.4	102.2	95.8	102.1	
神戸市	100.9	100.8	103.4	97.8	105.5	96.3	102.5	99.3	101.2	101.3	98.3	101.2	
岡山市	102.4	102.5	103.7	100.6	113.0	104.0	98.9	100.0	102.0	101.5	98.9	102.8	
広島市	102.2	102.3	103.8	100.6	110.2	92.7	104.6	99.1	102.8	104.2	97.4	102.3	
北九州市	101.5	101.4	103.2	100.7	106.8	92.5	100.0	99.3	103.1	103.1	97.6	102.2	
福岡市	101.0	100.8	102.5	101.3	105.7	92.4	97.1	98.8	101.6	102.1	97.3	102.6	
						前年比 (%)							
全 国	1.4	1.5	2.6	0.2	6.0	△0.3	0.5	△0.3	2.0	0.7	△0.5	0.4	
札幌市	2.0	2.0	3.1	0.5	10.2	△1.0	1.8	0.0	2.6	1.3	△0.7	△0.7	
仙台市	1.1	1.1	1.9	0.1	5.6	△2.6	△0.6	△1.4	2.0	1.4	0.2	△0.4	
さいたま市	1.2	1.3	2.4	0.6	4.7	△0.3	1.0	△0.4	1.6	0.3	△0.3	0.4	
千葉市	1.0	1.2	1.2	0.2	6.0	△0.2	△0.7	△0.7	1.6	△0.1	1.5	1.0	
東京都区部	1.0	1.0	2.1	0.2	4.1	△1.2	0.1	0.0	1.2	0.7	△0.2	0.6	
川崎市	0.9	1.0	2.5	0.0	4.3	1.6	0.5	0.3	1.1	0.6	△1.0	0.2	
横浜市	1.3	1.4	2.6	0.4	4.6	0.8	0.5	△0.1	1.1	0.4	0.6	0.9	
新潟市	1.1	1.4	2.1	△0.2	5.0	2.0	0.3	△0.8	1.8	0.9	△0.9	0.6	
静岡市	1.6	1.7	3.4	0.8	4.5	0.7	1.0	0.8	1.9	△0.5	△1.0	0.9	
名古屋市	1.2	1.3	2.5	△0.4	4.1	0.1	△1.0	△0.9	1.8	0.6	△0.3	1.4	
京都市	1.0	1.0	2.7	△0.4	3.5	△3.1	1.2	△0.3	1.3	0.7	△0.4	0.3	
大阪市	0.7	0.9	1.9	△0.9	3.6	0.3	0.3	0.7	1.1	0.9	△0.9	△0.3	
神戸市	1.0	1.1	2.3	△0.1	3.5	0.2	0.4	△1.1	1.6	0.5	△0.5	0.0	
岡山市	1.7	1.9	3.2	0.2	7.6	2.7	△1.1	0.5	1.8	0.7	△0.8	0.8	
広島市	1.9	1.9	3.5	0.3	6.1	△1.2	0.0	△0.5	2.4	3.0	△0.3	1.0	
北九州市	1.2	1.4	2.6	0.3	4.3	△1.0	△0.6	0.0	2.5	0.5	△1.0	0.0	
福岡市	1.0	1.1	1.9	0.9	3.1	△1.3	△0.7	△0.2	1.8	0.1	△0.8	0.2	

